

第17期生 参加者募集！

応募締切 令和5年6月30日

高校ベンチャー留学 2023

高校ベンチャー留学とは！？

東京都内のベンチャー企業・ふるさと企業(今治市出身者が経営する企業)等を訪問し、社長との交流の場を設け、働くことの意義や目的、参加者の夢に対するアドバイスだけでなく、起業家的な思考や行動の特性、特にチャレンジ精神、創造性、コミュニケーション力等を経営者から学んでもらうとともに、その経験をもとに、今後の在学生活や将来の自分を考えるきっかけをつくります。

東京で働いている社長と交流してみたい！！



将来についての悩みを聞いて欲しい！！



自分もいつか起業してみたい！

募集内容

募集人員	8名程度
対象	今治市内に在住もしくは今治市の高校に在学の方
参加費	25,000円 (食費、都内移動交通費が別途必要になります。)
選考	応募多数の場合は、エントリーシートによる書類審査

日程表 (東京留学期間2泊3日)

8/7 (月)	07:30 今治地場産センター発 昼頃 羽田空港着 13:20 JEPLAN株式会社 (ペトリファインテクノロジー株式会社) 16:30 城西大学紀尾井町キャンパス ミーティング
8/8 (火)	10:00 パイプドHD株式会社 14:00 コネクトロボティクス株式会社 ミーティング
8/9 (水)	10:30 株式会社ゲットイット 夕方 羽田空港発16:50 20:30 今治地場産センター着
8/10 (木)	留学成果プレゼン発表会 (今治地域地場産業振興センター内)

プログラム参加手順

【エントリーシート入手】

チラシ添付のシート、またはホームページよりダウンロードしてください。

【エントリーシート提出】

6/30までにFAX、または郵送にて事務局に提出してください。

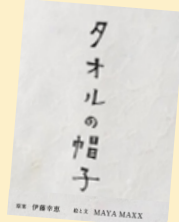
【選考結果】

7月初旬にお知らせします。

【説明会】

事務局での説明会にご参加ください。

高校ベンチャー留学へ出発！



【お申込み・お問い合わせ先】

一般財団法人今治地域地場産業振興センター
〒794-0042 今治市旭町2丁目3番5号
TEL:0898-52-4818 FAX:0898-32-8589

訪問先紹介

◇ 4社へ訪問させていただきます。

JEPLAN株式会社 <https://www.jeplan.co.jp/ja/>



◆代表取締役 執行役員社長／高尾 正樹(たかお・まさき)氏

1980年生まれ。大阪教育大学附属高校天王寺校舎卒業、2000年東京工業大学工学部(化学工学)に入学。同校卒業後、2004年4月東京大学大学院にて技術経営を専攻。同大学院中途退学後、2007年1月に日本環境設計(現: JEPLAN)を設立。専務取締役に就任。2013年より早稲田大学非常勤講師も務める。2016年3月に代表取締役に就任、2022年1月より現職。共同設立者である会長の岩元氏は、学生時代に映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に登場する「ゴミを燃料にして走る車型のタイムマシン」に感銘を受けた。年月が過ぎて日本環境設計(現: JEPLAN)を設立し、自らの手で劇中の設定を再現する事を決意。たくさんの人達の協力を得て、劇中で主人公たちが訪れた30年後の未来と同日・同時刻にゴミ(古着)を燃料にしたデロリアンの走行を実現させ、このイベントは同社が世界から注目されるきっかけとなった。現在は「あらゆるものを循環させる」というビジョンのもと、アパレル企業、全国の自治体、大手通信企業等と提携し、使用済の衣類やペットボトル、携帯電話等の回収やリサイクルを行ない、限りある資源の循環を実現している。

パイプドHD株式会社 <https://www.pipedohd.com/>



◆代表取締役社長 / 佐谷 宣昭(さたに・のぶあき)氏

1972年今治市河南町生まれ。立花小から松山の由良小、愛媛大付属中、松山北高を経て、95年九州大学工学部建築学科卒業、2000年3月同大学大学院人間環境学研究所博士課程修了。翌4月に起業し、2001年に「パイプドビッツ」へ社名を変更。2006年に東証マザーズへ上場し、2014年に東証一部へ、2022年に東証スタンダードへ市場変更している。設立以来、「情報資産の銀行」として、情報資産を安全にお預かりし、利活用していただくサービスを提供している。2015年にパイプドHD株式会社(純粋持株会社)を設立し、「未来に最適を」という経営理念のもと、社会がより良い未来へと向かうために本当に必要とされるITサービスを提供するというミッションにグループで取り組む。

コネクテッドロボティクス株式会社 <https://connected-robotics.com/>



◆代表取締役 / 沢登 哲也(さわのぼり・てつや)氏

1981年生まれ。東京大学工学部計数工学科卒業。京都大学大学院情報学研究所を修了。親族が飲食店を営んでいたことから、「かっこいいお店を自分でも作りたい」と、外食企業に就職し、新しい飲食店の立ち上げや、既存店舗の再生に関わる。

その後、米国のマサチューセッツ工科大学発のベンチャー企業に転職。ロボットコントローラ開発責任者を担当。2011年に独立後、産業用ロボットコントローラの開発の経験を経て、2014年にコネクテッドロボティクス株式会社を創業。当初はアプリの開発などを行っていたが、2017年4月、飲食業に特化したロボットサービス事業を構想し、「Startup Weekend Robotics」でたこ焼きロボットを披露して優勝。以来、「食産業をロボティクスで革新する」をミッションに食産業の課題を解決するロボットサービスの開発販売事業に取り組んでいる。

株式会社ゲットイット <https://www.get-it.ne.jp/>



◆代表取締役 / 廣田 優輝氏(ひろた・ゆうき)氏

1980年生まれ。東海大学在学中の2001年、株式会社ゲットイットを創業。IT機器のリユース事業および第三者保守事業を通じて、IT機器資源の有効利用を促進することで、効果的なIT投資、企業の環境保全をサポート。

ゲットイット独自の自律分散型経営を目指した、ユニークな経営方針、制度を生み出している。事業だけではなく、組織、そして社会にとって持続可能な価値を創り出すことに取り組み2019年「第6回ホワイト企業大賞」特別賞、GPTWジャパン発表の2021年版「働きがいのある会社」ランキングに選出。

4児の父。趣味はサーフィン、バンド活動。

◇特別講師

城西大学 経営学部 <https://www.josai.ac.jp/index.html>

◆教授 / 辻智佐子(つじ・ちさこ)氏 専門は経済史・経営史

播州織物の町、兵庫県加西市生まれ。大学では「経済史概論」「経営史」「日本の産業」などの科目を担当。歴史研究において、今治タオルや泉州タオルといった日本の二大タオル産地を事例に「産業集積とイノベーション」の関係について考察している。そして、2012年11月から今治市立図書館のホームページで、今治でタオルづくりに従事されている方々について記事を配信。2023年1月に「タオルびと」10周年を記念し、『タオルの帽子』(伊藤幸恵原作／MAYA MAXX絵付け・テキスト)を発刊。その他、主な著書に川勝平太編[2002]『グローバルヒストリーに向けて』(共著)藤原書店、鈴木健夫編[2013]『越境』世界の諸相: 歴史と現在』(共著)早稲田大学出版部、内田日出海他編[2014]『地域と越境』(共著)春風社などがある。また、タオル工業関連の主な論文には「戦前期今治タオル工業の発展と公設試験研究機関における技術者の役割: 菅原利録の事例から」[2020]『経営史学』55(2)や、戦後の今治タオル工業における革新的企業者の育成や革新的経営手法の導入などをまとめたものがある。モットーとしている言葉は「感謝」と「謙虚」。

